

## ◆マリンカレッジ

# パヤオ漁業体験学習

八重山農林水産振興センター 牧野清人

### 1. 目的

漁業の担い手育成を目的とし、水産業改良普及事業ならびに漁業士会活動の一環として、パヤオ漁業体験学習が行われた。

### 2. 対象

八重山農林高等学校の1、2年生を対象として実施した。

### 3. 開催日時

平成23年2月5日午前8時30分に石垣市八島町の東二組漁船関連施設に集合し、体験学習を開催した。

### 4. 協力

漁業士八重山支部

### 5. 内容

八重山農林高等学校校長の挨拶後、八重山農林水産振興センター普及指導員ならびに比嘉康雅指導漁業士による「沖縄の水産業」と題してのスライドショーを用いた県内の漁船漁業と養殖業、県産水産物の生産状況についてデータを元にした解説が行われた。

その後生徒4名、教員2名、普及指導員等が比嘉指導漁業士の漁船に乗船し、船長船員含めて10名で石垣市登野城漁港を出航した。出航後約1時間で石垣島南30km沖の県の表中層浮漁礁付近に到着し、比嘉康雅漁業士の指導の下一本釣り漁業を開始、約1時間後にこの位置から東側の中層浮漁礁に移動し、再度一本釣りを2時間程度行った。

今回の成績はシビマグロが17本で、内、6本を生徒が釣り上げた。中には船酔いで釣りができなかった生徒もいたが、帰港した時点では回復しており、それぞれ釣り上げたマグロを満足そうに持ち帰った。

夕方5時から、農林高校において学校側と交

流会を行った。交流会には池田元指導漁業士や今回乗船できなかった教員9名にも参加していただき、漁業士会と高校教員との交流を行った。

反省点としてはもう少し波の穏やかな日を選んで行くべきということであったが、取り組みそのものは非常に有意義であり、来年度以降もお願いしたいとの学校側からの要望があった。

八重山農林高校では農産物などの加工に関するカリキュラムもあり、今後水産物を原材料とした加工品づくりにもお互い協力したいといった話題にもなり、将来性を見込める体験学習となったことを実感した。



比嘉指導漁業士からパヤオ漁業について説明



体験漁業での釣果、シビマグロ17尾